

# 「新型コロナQ&A」が好評です

「新型コロナウイルス感染拡大が大問題になっています。感染拡大を防ぎ、命と健康をどう守るか、暮らしと営業、子どもと教育をどう守るか——Q&Aで考えます。日本共産党はみなさんの不安に寄り添って、解決をめざす活動に全力をあげます。」

「新型コロナQ&A」が「わかりやすい」と好評です。

パンフレットの一部を紹介しましょう。

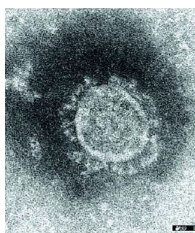
Q 新型コロナウィルスとは、どんなウィルス？

A 人に感染するコロナウィルスは6種類知られていました。このうち4種類は一般的な風邪の原因となるウィルスで、ほとんどの人が6歳までに感染し、多くは軽症です。あとの2種類は動物のコロナウィルスが人に感染し、人から人にうつるようになったと考えられるもので、中国圏を中心に流行したSARS（サーズ）と中東を中心に拡大したMERS（マーズ）です。

7番目の新しいウィルスが今回の「新型コロナ」で、コウモリが感染源の可能性があります。中国の感染者のデータによれば8割が軽症で、重症・重篤例は2割となっています。

Q どうやって感染するの？

A 感染した人のくしゃみ、せき、つばなどの飛沫（ひまつ）から出たウィルスを別の人が口や鼻から吸い込む「飛沫感染」と、ウィルスのついた手でふれたところを別の人がさわったり、手から口や鼻を通じてウィルスを体内に取り込む「接触感染」があります。しかし、それだけでなく、米国立衛生研究所（NIH）などの研究では、新型コロナウィルスはエアロゾル（空気中を浮遊する微粒子）中で最大3時間生存し、それによる感染が起こりうるとしています。



（写真）新型コロナウィルス

このほか、「検査で『陽性』となったらどうなりますか？」「新型コロナの影響で暮らしも営業も景気も落ち込んでいます。政府はどんな対策をうつべきですか？」「税金や保険料、公共料金の納付が心配です」など合計で20項目の質問と回答が掲載されています。

このパンフレット『新型コロナQ&A』をご希望の方は私の携帯電話（090・5392・1961）にご連絡ください。「しんぶん赤旗」号外扱いとなっていますので、無料でお届けします。



【アズマイチゲ】再掲。キンポウゲ科の多年草。漢字で「東一華」と書きます。花は白、すでに咲いています。キクザキイチゲに似た花ですが、葉はこちらの方が広く、かつ丸くなっています。花言葉は「温和」「耐え忍ぶ恋」。写真は3月26日に吉川区尾神にて撮影しました。

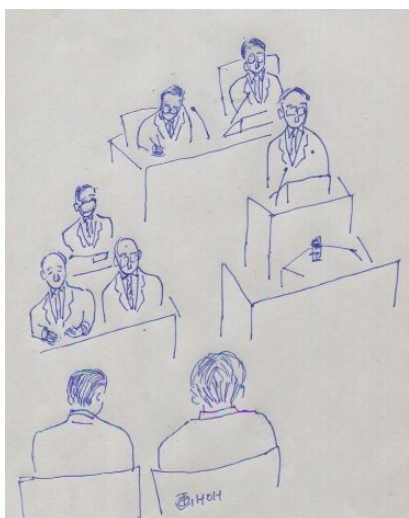
## 新型コロナ Q & A

健康・暮らし・子ども  
どう守る 日本共産党

新型コロナウイルス感染拡大が大問題になっています。感染拡大を防ぎ、命と健康をどう守るか、暮らしと営業、子どもと教育をどう守るか——Q&Aで考えます。日本共産党はみなさんの不安に寄り添って、解決をめざす活動に全力をあげます。

2020年 春号外  
発行 日本共産党中央委員会  
〒151-8585 東京都目黒区中目黒4-26-7 TEL 03-3403-6111 FAX 03-5474-8358

赤旗



次号では3月議会最終日の討論と採決結果などについて報告します。

## 今年も大口満さんの個展開催

本町3丁目の大嶋画廊にて開催されている元上越高校教員で画家の大口満さんの個展を観てきました。

毎年、この時期に開催されるのですが、どんなに時間がなくても作品を観たくなるのは何なのでしょう。今回の個展のメイン、妙高市の平丸地区の山や川の流れを描いた作品は、私が少年時代を過ごした吉川区の山間部の風景とそっくりです。懐かしさを感じました。

写真は大口さんと私



**No.1954 2020.4.5**

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

はしづめ法一の  
活動レポート



# 春よ来い 第六〇一回 梅の花

三月の半ばに尾神岳に登った日のことでした。久しぶりに蛭場(ほたるば)を通って帰ることにしましたが、その際、連れ合いと共にわが家の墓に寄って来ました。わが家の墓に寄ることにはしたのは、素通りするのは申し訳ないという気持ち以外に何もありません。ただ、何かあるのではないかと、そんな予感がありました。

予感に当たりました。墓の前に白い梅の花が飾ってあったのです。梅の花を見たとき、お彼岸が近いということ、少し早めに墓参りに来たといったふうには思えませんでした。普通に墓参りに来たならば、どこかで市販の花を買い、それを飾るはずだと思っただけです。

これは私の推測ですが、別の目的で、この近くに来た人がついでに立ち寄ったのではないかと。その際、何か花がないかと探したところ、墓場からそう遠くない場所に梅の木があり、木には白い花がいっぱい咲いていた。ならば、ひと枝もらって、墓に飾ろう、そう思ったにちがいない。私はそう判断しました。

墓のそばにあった梅の花はまだ生き生きしてました。花びらには輝きがありました。たし、茎自体もしっかりしてました。ひょっとすれば、梅の枝が活けられたのは、その日の午前だったのではないかと。どんなに早くても二、三日前だろうと思いましたが、

墓に手を合わせてから、私が「いったい誰だろう、梅の花を飾ったのは……」と言ったと、連れ合いは、「イサムさんしかいないでしょ」と言いました。じつは、私自身もそんな感じがしていたのです。

のことでした。

数年前、弟も私もほぼ同じ時期にネコヤナギを探しに蛭場へやって来たことがありました。釜平川のそばにある、花穂が大きい緑色のネコヤナギは、子どもの頃から楽しみでした。春到来を教えてください、川の一つだったのです。川はそばまで行き、花穂にさわって猫の尻尾のようなつやつやした感じを味わいたい、その気持ちはいくつになっても変わりませんでした。

今年も暖冬少雪でした。雪がほとんど降りませんでしたので、ネコヤナギはいつもよりもかなり早く開花しています。弟は今もこのネコヤナギを求めてやってきたのではないかと。墓がある釜平(がまびろ)周辺の様子を見るうちに、その思いはだんだん強くなりました。

墓には五六年前の三月一九日に亡くなった祖父、音治郎も、十一年前の四月八日に亡くなった父、照義も眠っています。命日の近くに墓に来たことがわかれば、祖父も父も大喜びしたに違いありません。

墓場から離れるとき、墓場と地続きで、三十年ほど前までハサ場となっていた場所を見ると、薄紫色の花が一輪咲いていました。キクザキイチゲです。

そう言えば、ここはキクザキイチゲとトキワイカリソウがいっぱい咲く場所だったなと思いつきながら、私はハサ場の下の方面へ向かって歩きました。

二〇分ほど歩いて、二・五分ほどの高さの梅の木と出合いました。やはり、梅の木は近くにあったのです。すでに開花していて、ちよつと花盛りといった感じでした。

弟がこの梅の木のひと枝をもらい、墓に飾ったかどうかはわかりません。どうあれ、祖父や父などに会いに寄ってくれて、春を告げる梅の花を飾ってくれた、その気持ちをとてつれしく思いました。

## 「春よ来い」600回到達でコメント

「春よ来い」が600回になったことで、多くの人からコメントをいただきました。その一部を紹介します。

- 600回、すごいですね。おめでとうございませぬ。そしてお母さまのお話がすばらしい〜!
- 継続は力なり、と言いますがなかなかできないことです。これからも心温まる文で皆さんに元気をお届けください!
- 驚きですね。一口に600回と言いますが本当に素晴らしいことです。しかも一週間に1度とは本当に大変なことです。お母さんの話は、私の母を思い出して読んでいます。有難うございませぬ。
- 600回おめでとう御座います。読者でこれを楽しみにしている方が大勢おられますよね。文学作品ですね。
- 600回、凄いの一言。わたしの周りにも愛読者が沢山います。これからも続けて下さい。
- 素晴らしい日を迎えられましたね。これも健康であることとお人柄があつてのたくさんの方々とのご縁があり出来上がってきた一枚一枚ですね。これからも楽しみにしています。
- 600回お疲れ様です。あたたかさや素朴さにあふれた生活の場が書かれています。私はシッカリ保存をしてあります。



## ニュースフラッシュ

前号の「国保税を協会けんぽ並みに」の記事中、「賛成は共産党議員団と牧田議員だけ」と書きましたが、近藤彰治議員も賛成でした。お詫びして訂正します。

## 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月25日(水)	4月1日(水)
上越南消防署	0.043	0.047
上越北消防署	0.043	0.043
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.043	0.050
頸南消防署	0.057	0.050
東頸消防署	0.050	0.047
高士分遣所	0.053	0.050
名立分遣所	0.047	0.053